

広がり始めた改善の輪 成果の実感を次のステージにつなげる

ジャノメダイカスト

家庭用ミシンをはじめ自動車、機械、精密機器などの幅広い分野でダイカストを手がけるジャノメダイカスト(山梨県都留市)は、今年4月から小集団活動を主体とした改善活動を開始した。アイデア提案から改善を実行し、その成果を実感できる段階まで到達。改善の輪が全社的に広がり始めている。10月からは活動を第2段階へ移し、改善活動の定着化を目指す。杉浦光男社長と改善事務局担当の清水一彦製造部部長に、改善活動の振り返りと今後の展望について聞いた。

—貴社の事業について教えてください。

杉浦 ダイカストはアルミニウムやマグネシウムなどの金属材料を



ジャノメダイカストのみなさん

溶かして精密な金型に高速・高圧で圧入し凝固させる製法で、高精度で鑄肌のきれいな鑄物を生産する鑄造方式の一種です。当社は昭和44年に蛇の目ミシン工業から分社しました。創業当時からミシンのボディ部品のダイカスト製造が主力事業でしたが、ミシン製造は昭和50年頃の国内需要のピークを境に台湾など海外生産に移行し、国内生産が縮小。その後、自動車や機械、精密機器などに適用分野を広げていきました。

—改善活動を始めたきっかけは。

杉浦 実は、私が社長に就任する以前にTPM活動に取り組んだ時期があったのですが、定着せずに長らく小集団活動が滞っていました。そのため若手社員の発言の機会が減り、QC手法の知識も薄れ

ていたことに危機感を覚え、会社を活性化させるための新たな手立てを模索していました。そこで過去の反省を踏まえ、小集団活動の復活と定着化を目標に取り組むことを社長就任時に決意。しかし、現場のリーダーが改善をどのように運営していけばよいかわからず、外部の力を借りることにしました。そこで出会ったのがコンサルタントの「カイゼン・マイスター」です。

—どのような指導を受けていますか。

清水 今年4月から毎月2回指導を受けており、机上による改善手法の勉強会と現場での指導会が主な内容です。活動メンバーは課長、リーダーなど中堅クラスです。

杉浦 過去のTPM活動が定着し

会社概要

会社名：ジャノメダイカスト(株)

所在地：〒402-0011

山梨県都留市井倉沢
戸775

創業：1969年

従業員数：80人

事業内容：アルミダイカストおよびマグネシウムダイカスト製品の製造、石膏鑄造による試作品の製造